

## 安樂行品五箇の大事

### 第一 あんらくぎょうほん 安樂行品の事

御義口伝に云はく、妙法蓮華經を安樂に行ぜん事、末法に於て今日蓮等の類の修行は、妙法蓮華經を修行するに難来たるを以て安樂と意得べきなり。

### 第二 いっさいぼうくう 一切法空の事

御義口伝に云はく、此の下に於て十八空これ之有り。十八空たいの体とは南無妙法蓮華經是なり。十八空とは何れも妙法の事なり。

### 第三 うしよなんもん ふ いししょうじょうほうとう たんにだいじょう にいげせつ りょうとくいっさいしゅち 有所難問 不以小乘法答 但以大乘 而為解説 令得一切種智の事

御義口伝に云はく、対治の時は權教を以て会通えつうすべからず。一切種智とは南無妙法蓮華經なり。一切は万物なり、種智は万物の種なり。妙法蓮華經是なり。又云はく、一切種智とは我等が一心なり、一心とは万法の總体なり。之を思ふべし。

### 第四 むうふい かとうじょうとう 無有怖畏 加刀杖等の事

御義口伝に云はく、迹化の菩薩に刀杖の難これ之有るべからずと云ふ經文なり。勸持品には末法法華の行者に及加刀杖者・数々見擯出ぎっ かとうじょうしゃ さくさくけんひんずいとあり。此の品には之無し。彼は末法の折伏の修行、此の品は像法撰受の修行なるが故なり云云。

### 第五 うにんらいよくなんもんじゃ しょうてんちゅうや じょういほうこ にえいごし 有人来欲難問者 諸天昼夜 常為法故 而衛護之の事

御義口伝に云はく、末法に於て法華を行ずる者をば諸天の守護これ之有るべし。常為法故の法とは南無妙法蓮華經是なり。